

兵庫県におけるオサムシの分布(2)*

高 橋 寿 郎

本文に入るに先立ち前回報告させて頂いた各種に就いて筆者の不注意で兵庫県下の記録の脱落していたもの、その後発表された仲田元亮氏『能勢の昆虫, I』(1978, 自刊), 川瀬恵二氏『淡路島中・南部のオサムシ3種の採集記録』(Parnassius, 20: 20-21, 1979)の中で記録されたもの、また筆者自身の調査結果での新発見もあるのでそれ等をまとめておきたい。

尚今回の報文をまとめるにあたり御自身採集の兵庫県産オサムシ類標本を検査する機会を与え下さり更に六甲山麓産のマヤサンオサムシ, 多紀郡西紀町産ヒメオサムシ, クロナガオサムシ等々の標本の御恵与に預りました小林桂助氏の御好意に厚く御礼申し上げます。

Calosoma maximowiczii (Morawitz)

クロカタビロオサムシ

猪名川町木間生 [30-IV-1973, 19-V-1973], 川西市笹部 [22-V-1971, 23-V-1971, 12-V-1973, 13-V-1973, 12-V-1974, 20-VII-1975, 2-V-1976], 大和 [5-V-1973], 横地 [3-VII-1971, 20-V-1972] [以上仲田氏採集]。

本種の県下の分布は所謂川辺郡並びに川西市の県東南部には割合いる種のようなのであるが他の地域での産は少ない種といえよう。(岡田俊典氏による笹部で採集されたクロカタビロオサムシの飼育報告は大変参考になる—1966, 1968)

Campalita chinense (Kirby) エゾカタビロオサムシ

西宮市津門綾羽町 [lex., 25-VII-1955, Ueda leg., 東, 1971], 甲子園駅付近 [lex., 15-VIII-1957, Iizuka leg., lex., 24-VIII-1957, Nakata leg., 東, 1971], 上か原 [lex., 7-VII-1960, Kotani leg., 東, 1971], 西宮市内 [lex., VIII-1957, Takano leg., 東, 1971], 尚仲田氏も新たに川西市大和での採集記録を発表しておられる。この種も県の東南部には割合いるようである。本種が宮崎県の花壇の土中で1度に86頭採集出来たと云う記録がある(山谷, 1979)し, 東氏も1969年8月3~4日に伯耆大山で大発生したとも記録されている(1971)。案外多くいる所があるかもしれない。

Carabus (Hemicarabus) tuberculatus (Dejean et Boisduval) セアカオサムシ

本種も芦屋市内での採集記録がある [lex., 6-IX-1958,

Ariga leg., 東, 1971]。

Carabus (Euleptocarabus) porrecticollis kanasaiensis Nakane ホソアオクロナガオサムシ,

川西市内で採集されている。川西市黒川 [11-VI-1972], 横地 [16-VI-1972], 笹部 [14-III-1976, 7-V-1977, 29-V-1977] [以上仲田, 1978]。筆者も同市『ときわだい』で1♂を採集した。この地域には割合いるようである(特に大阪府に属する所の方が多いようである)。また鳥取県岩美郡(兵庫県と境を接する, 扇ノ山の西側にあたる)には山地に多く産するとされているが西の方中国山脈での産は必ずしも多くいる種でもなさそうである。西限は島根県琴引山のようなのである[岡, 1977]。兵庫県でも氷ノ山, 扇ノ山あたりにはそれ程いるようでもなく, 音水あたりも前に記したように少いようであるが大撫山には多産する。従って県の西端地域にいて真ん中部分ではほとんど知られていない分布をしている種である。

Carabus (Ohomopterus) dehaanii Chaudoir

オオオサムシ

本種も川西市内から可成り記録されている[横地, 笹部, 芋生, 仲田, 1978]し筆者自身も『ときわだい』で採集した(3♀, 28-III-1979)。また宝塚市岩倉山でも採集出来た(3♂, 2♀, 20-XI-1978)。淡路島でも新しい産地が報告されている。洲本市内納(Osame), 内田。三原郡緑町広田周辺[川瀬, 1979]。前回の報文で県下の日本海側での記録が無いむね記したが筆者自身美方郡浜坂に調査に出掛け(1978年10月17日), 2♂, 1♀を採集した(浜坂の宇都野神社裏)。従って日本海側にも分布していることが確かめられた。尚40年近くの間全く本種が採集出来なかった神戸市の鳥原地域で本年1♂が採集出来た(16-V-1979)

6. *Carabus (Ohomopterus) insulicola maiyasanus* (Bates, 1873) マヤサンオサムシ

本亜種は摩耶山産の標本により記載されたものである。近畿北半の低地帯に分布し, 北は新潟県糸魚川から東は鈴鹿山脈の中央部に及び紀伊半島内からの記録は全くない。分布の南限は瀬戸内低地帯の北縁とだいたい一致する。そして琵琶湖南方の信楽山地に subsp. shigaraki Hiura et Katsura, 1971, シガラキオサムシを産する。西の方では鳥取県岩美郡高山の記録があるが[日浦, 桂,

*兵庫県甲虫相資料, 64.

1971], それ以外今の所兵庫県より西の分布はほとんど知られていない。兵庫県下には次に記すごとく広く分布している種であるが多く産する種ではないようである。所によっては近接地と雖も分布していない所がある。例へば佐用郡大撫山, 赤穂郡上郡には本種が見出せないが相生市三濃山とか宍粟郡と接する船越山, 宍粟郡山崎以北には分布していたりする。六甲山系でも産地は限られているようである。今の所淡路島からの記録が全くない。

産地: 川西市猪名川町上阿古谷, 見野〔238〕, 笹部〔仲田, 1978〕, 宝塚市岩倉山 (1♂, 4♀, 9-III-1979), 西宮市北部山地有馬地区, 六甲山地東南部, 神戸市六甲山〔224, 143, 神吉, 1958, 日浦, 1971〕(lex., 27-VII-1939), 六甲寒天山頂〔日浦, 1971〕, 六甲山麓 (1♀, 22-VIII-1931, K. Kobayashi leg.), 一王山 (7 exs., 15-I-1939), 保久良山 (1♀, 12-V-1978), 御影〔316, 日浦, 1971〕, 本山町森〔500〕, 摩耶山〔10, 86, 163, 337〕 (3 exs., 20-VI-1939), 再度山〔日浦, 1971〕, 山の街〔日浦, 桂, 1971〕 (7♂, 6♀, 23-III-1975, 5♂, 2♀, 30-III-1975, 2♂, 2♀, 24-XI-1975, 6♂, 7♀, 17-I-1976, 5♂, 2♀, 6-III-1976, 3♂, 3♀, 13-XI-1976, 4♂, 2♀, 13-III-1977, 3♂, 4♀, 27-II-1977, 1♂, 1♀, 20-III-1977, 2♂, 3♀, 15-X-1977, 2♂, 15-I-1978, 1♀, 18-III-1978, 1♂, 30-IV-1978, 2♂, 24-X-1978), 藍那 (1♀, 11-X-1978), 有馬町カタ越峠, 下唐櫃〔富永他, 1973〕, 姫路市千本〔中巨, 1970〕, 多可郡大山新〔日浦, 桂, 1971〕, 加美町三谷 (1♂, 24-V-1975), 神崎郡笠形山 (1♂, 6-XI-1976), 相生市三濃山 (2♂, 6-V-1973, 1♀, 6-VII-1973, 1♂, 10-IV-1976), 佐用郡船越山〔287〕, 宍粟郡葛根〔457〕, 安師村塩野〔日浦, 桂, 1971〕, 音水 (1♀, 25-IV-1972), 波賀町原〔日浦, 桂, 1971〕, 引原 (1♀, 22-IV-1975, M. Yuma leg.), 多紀郡篠山〔149, 岸田, 1975〕 (2♂, 4♀, 17-IV-1976), 古市〔水沼, 1969〕, 東浜谷, 郡家〔日浦, 桂, 1971〕, 三嶽〔中巨, 1970〕, 西紀町 (1♂, 15-I-1977, K. Kobayashi leg.), 氷上郡〔514〕, 山南町若林 (1♂, 26-III-1975, K. Kuramoto leg., 3♂, 5♀, 23-I-1977, K. Fujiwara leg.), 出石郡伊東町河本, 出石町三木〔360〕, 豊岡市九日市〔529〕, 養父郡関宮町丹戸〔日浦, 桂, 1971〕, 氷の山〔291, 410, 日浦, 桂, 1971〕, 大屋町田淵山 (2♀, 5-VIII-1975, M. Yuma leg.), 美方郡鉢伏山頂, 鍛冶屋〔日浦, 桂, 1971〕, 扇ノ山〔482〕。

7. *Carabus (Ohomopterus) yaconinus* Bates, 1873

ヤコンオサムシ

産地: 津名郡常隆寺山〔90, 桂, 1971〕, 五色町鮎原吉田〔川瀬, 1979〕, 洲本市先山〔90, 桂, 1971, 堀田,

1976〕 (1♂, 8-V-1977, Hotta leg.), 中川原町, 安乎町, 大日ダム〔堀田, 1978〕, 下加茂, 鮎屋, 納, 内田, 天川 (Amagawa)〔川瀬, 1979〕。三原郡 諭鶴羽山, 柏原山~竹原ダム〔桂, 1971〕, 川辺郡猪名川町上阿古谷, 川西市 見野〔238, 仲田, 1978〕, 横地, 大和, 芋生〔仲田, 1978〕, 笹部〔仲田, 1978〕 (1♂, 9-IV-1978), 宝塚市〔中根, 1953〕, 切畑 (1♀, 18-II-1979), 西宮市北部山地, 有馬地区六甲山地東南部〔92〕, 兵庫〔10, 164〕, 神戸〔229〕, 六甲山麓土橋〔449〕, 六甲台町 (1♂, 24-III-1979), 保久良山 (3♂, 1♀, 30-XII-1975), 鳥原 (1♀, 1-VIII-1971, 2♂, 4♀, 8-VIII-1971, 7♂, 2♀, 16-IV-1972, 1♀, 14-V-1972, 1♂, 28-V-1972, 2♂, 4♀, 23-VII-1972, 1♀, 23-VIII-1972, 1♂, 23-VIII-1972, 1♂, 29-III-1975, 1♂, 11-V-1975, 1♂, 16-XI-1975, 2♂, 5♀, 6-III-1976, 4♂, 1♀, 13-XI-1976, 4♂, 4♀, 9-I-1977, 10♂, 7♀, 31-VII-1977, 2♂, 18-III-1978, 3♂, 1♀, 21-V-1978), 鶴越 (3♂, 4-IV-1976), 山の街 (1♂, 23-III-1975, 1♂, 1♀, 30-III-1975, 2♂, 24-XII-1975, 3♂, 2♀, 17-I-1976, 3♀, 13-II-1977, 5♀, 27-II-1977, 3♂, 2♀, 20-III-1977, 1♂, 4♀, 15-X-1977, 2♂, 1♀, 15-I-1978, 1♀, 24-X-1978) 藍那 (1♂, 2-I-1976, 2♀, 31-X-1978), 山田町 餓鬼ノ隘, 淡河町 石峯寺〔富永他, 1973〕, 垂水〔中根, 1953〕, 明石市明石公園 (3♀, 15-VI-1975), 姫路市千本〔中巨, 1970〕, 加東郡社町清水寺〔富永他, 1973〕, 多可郡 加美町 三谷 (1♀, 24-V-1975), 神崎郡大河内町川上 (lex., 6-VIII-1977), 飾磨郡家島 (1♂, 26-V-1978), 相生市三濃山 (1♂, 7-V-1972, 1♂, 1-VI-1974), 赤穂郡上郡 (4♂, 7♀, 20-XII-1975), 佐用郡 佐用町 大撫山〔457〕 (5♂, 5♀, 15-III-1975, 13♂, 12♀, 6-XII-1975, 9♂, 12♀, 13-III-1976, 3♂, 3♀, 25-IV-1976, 2♂, 5♀, 20-XI-1976, 18♂, 13♀, 11-III-1977, 1♂, 2-V-1978), 船越山〔287〕, 揖保郡新宮町下野〔457〕, 宍粟郡 山崎町, 葛根〔457〕, 多紀郡 篠山町〔岸田, 1975〕, 氷上郡〔514〕, 山南町若林 (1♂, 24-III-1975, K. Kuramoto leg.), 出石郡 出石町 有子山〔360〕, 美方郡扇ノ山〔144, 482〕。

県下に広く分布している種の1つである。特に神戸市内には多くおり都市周辺に多い種のようなのであるが佐用郡の大撫山, 赤穂郡上郡のあたりにも多くいる。どちらかと云えば北部方面での産が少ないようである(調査不足の点もあるかと思う)。

8. *Carabus (Ohomopterus) japonicus chugokunensis* Nakane, 1961

アキオサムシ

産地: 洲本市先山〔桂, 1971, 90, 堀田, 1976〕 (1

♂, 16-VIII-1950, H. Hotta leg., 1 ♀, 20-X-1975, 1 ♂, 3 ♀, 9-III-1978), 宝塚市大原野〔1 ♂, 21-V-1978, T. Okutani leg.〕, 神崎郡大河内町砥ノ峯(1 ♂, 3-K-1977), 佐用郡大撫山〔457〕(5 ♀, 15-III-1975, 1 ♂, 1 ♀, 6-XII-1975, 8 ♂, 7 ♀, 13-III-1976, 1 ♂, 4 ♀, 25-IV-1976, 2 ♂, 2 ♀, 20-XI-1976, 9 ♂, 11 ♀, 11-III-1977, 1 ♀, 2-V-1978), 船越山〔287〕, 多紀郡篠山〔149, 229, 164, 岸田, 辻, 1975〕, 西紀町(2 ♂, 1 ♀, 18-IV-1976, K.Kobayashi leg.), 出石郡出石町〔360〕, 朝来郡生野〔小宮, 1970〕, 養父郡氷の山〔日浦他, 1971〕。

本種の分布は以上のごとく県下では割合限られた地域にのみ知られている。淡路島の洲本先山にはそれ程多くはないが産する。篠山には多くいるようである。小林桂助氏によると西紀町で冬季オサムシ掘りで割合でてくることである。大撫山にも比較的多く産する。県下でこのように両端に分布する傾向にあるのはホソアオクロナガオサムシと同じようである。また美方郡浜坂で採集した1 ♀(17-X-1978)は形態的に見て *Carabus* (*Ohomopterus*) *daisen* Nakane, ダイセンオサムシではない

かと思うのだが僅か1 ♀であるので種の決定はもっと材料が集るまで保留しておきたい。

尚“冬虫夏草”として良く知られているオサムシタケ(*Tilachlidiopsis nigra* Yakushiji & Kumazawa, 1930)の発生したものを県下で次のごとく採集している。ヤコンオサムシ(1 ♂, 1 ♀, 11-III-1977, 1 ♀, 19-III-1975, 1 ♂, 2-V-1978), アキオサムシ(1 ♀, 13-III-1976), いづれも佐用郡大撫山での採集である。県下でオサムシタケの採集記録は加東郡清水寺でのヤコンオサムシの1例を他に知るだけである(1973)。このようにオサムシタケの発生が限られているのは種々の条件が必要なのだろうと思われる(洲本市柏原山でカメムシタケークサギカメムシの記録がある, 1977)。また色々の文献を見てもこのオサムシタケの例はアオオサムシ, ヤコンオサムシ, ヒメオサムシ, マイマイカブリ位で, 土中生活者であるクロナガオサムシあたりにその例を見ないのは何故か, これ等の点も今後もっと調べて見なくてはならない。

(V-1979)